

# 平成27年度 日立木幼稚園 学校評価 報告書

平成28年 3月 1日  
相馬市日立木幼稚園長 加村 育夫

【教育目標】  
・工夫する子ども  
・がんばる子ども  
・思いやりのある子ども

【本年度の重点目標】  
・友達の思いに気付いたり、自分の思いを伝えたりできる子ども

( 到達度 4；十分達成 3；達成 2；やや不十分 1；不十分 )

領域	努力目標（評価項目）	自己評価（記述）	到達度	学校関係者評価（記述）	到達度	学校関係者評価を踏まえた改善策
教育目標と目標の導員の現充化	教育方針を園だよりや懇談会等を通してわかりやすく伝える。	園便りや懇談会などを利用して、教育方針や取り組み等を繰り返し伝えてきた。	3	教育方針や子どもの様子等を分かりやすく伝えてあって安心していた。	4	教育方針や取り組みを機会あるごとにわかりやすく伝え、関心を持ってもらえるような工夫を考えていく。
	教育目標の具現化を目指し、長期・短期の指導計画及び学級経営において明確にする。	教育目標を年齢・学期ごとに具体化し、学級経営に取り入れ、学期ごとに反省・評価し日々の保育に位置づけてきた。	3	長期・短期での目標を元に日々の保育に熱心に取り組まれていた。幼児教育は反復繰り返し指導が大切である。	3	学期ごとに目指す幼児の姿、評価基準を決めて取り組み、指導計画の見直しを同時に行う。
日常生活指導の充実	幼児の基本的な生活習慣の習得を目指し、生活指導を保育の中に位置づける。	基本的な生活習慣がしっかり身につくように発達段階に合わせて繰り返し指導をしてきた。	3	発達段階に合わせて、生活習慣が身につくように努力されていた。	4	園での取り組み方を家庭にも伝え、家庭でも同じ進め方で指導できるようにしていく。
	毎日の保育や遊びの中で善悪の区別を知らせたり、相手の思いに気づかせたりなど道徳的指導に努める。	小さな出来事も見逃さず、分かるように伝えたり、考えたりできりような指導をその都度繰り返ししてきてきた。	3	子ども同士の遊び等の中から良いこと、悪いことが気づけるよう指導されていた。	4	相手の立場になって考えられるような援助や雰囲気作りをし、良い悪いの判断ができるように指導をしていく。
保健安全指導の充実	健康な生活に必要な態度を身につける。	身体を動かす活動を多く取り入れるように努めたり、養護教諭と連携しながら健康な生活が過ごせるよう図ってきた。	3	運動不足がちな子ども達に体を動かす楽しさを伝えていた。	4	身体を動かす活動を計画的に取り入れる。保健衛生面については、養護教諭の講話なども取り入れていく。
	交通教室、避難訓練を実施し、交通のきまりを知らせたり、火災や地震などから身を守るように指導する。	視覚教材等を活用し、常日頃から指導してきた。定期的な訓練を実施する中で、火災や地震等から身を守るよう繰り返し指導してきた。	4	小学生と共に訓練を行い、子ども達の中に身を守る大切さを意識づけられたと思う。いろんな場面を想定した定期的な訓練が大切です。	4	常日頃から安全に対するきまりや約束を意識させた指導をしていく。学期ごとの合同訓練への参加、園内防災訓練などを継続していく。
教育環境の整備と充実	学級の中で、一人ひとりが自主的・自発的に遊べる環境づくりを行う。	興味や関心を探り、自発的に遊べる環境作りを工夫し、遊びに広がりをもてるような援助を努めた。	2	季節感のある環境作り、それに合った遊びができていた。今後も継続され、自主的な遊びができるよう希望する。	4	発達の姿をおさえながら、一人ひとりの興味や関心を探っていく、適切な環境作りを行う。
	身の回りの自然環境を生かした体験活動を行う。	J Aさんを活用しての体験活動、季節感を感じ取りたいけるような（できる範囲の中で）活動を取り入れてきた。	2	周囲の自然環境に恵まれているので、工夫すれば容易である。継続して取り組んでほしい。	3	放射能に対する保護者の考えの違いがあるので十分に留意しながら進めていく。
現職教育の充実	現職教育計画に基づき、幼教研のテーマによる研究や園内の課題の研修に努める。	研究テーマに向けて、それぞれの疑問や課題について十分な話し合いをし、研修に努めてきた。	3	熱心に取り組まれていると思う。	4	テーマについての共通理解をし、計画的に話し合い研究を深めていく。
	自己研修に努め、資質の向上に努める。	研究会・保育班会等の研修をとおして、他園の保育を觀たり意見交換をしたりすることで自己の振り返りができた。	3	資質向上を目指して努力されていたと思う。	4	研究会や各種研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めていく。
園管理運営の充実	園務分掌を明確化し、計画的な園務の遂行に努める。	分掌内容を明確にし、計画的に園務の遂行に努めた。	3	それぞれが役割を果たし、取り組まれていた。	4	計画的に遂行できるよう全職員で協力しながら進めていく。
	安全点検や園内外の清掃美化を行い、事故防止に努める。	毎月の安全点検、日々の整理整頓を心がけ事故防止の徹底に努めた。	4	子ども目線での整理整頓ができており、安心・安全の中で過ごせるよう配慮されていた。	4	定期的な園内外の点検を行う事で、危険箇所の早期発見・改善を行い事故防止に努めていく。
各種教育の充実	幼児の発達や学びの連続性を踏まえ、幼児期の教育と児童期の教育の円滑な接続を図る。	合同の行事や小学生との様々な交流をとおして、小学校生活に興味や期待を持たせることができた。幼稚園の遊びの様子を觀て理解してもらおうことも必要と考える。	2	小学生との交流をとおして、小学生は小さい子の面倒を園児は小学校への関心を持つことができていたと思う。	3	遊びをとおして様々な経験をさせ、意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を育てるようしていく。アプローチプログラムを活用し、スムーズな接続を図っていく。
	特別な支援を必要とする幼児に対し、障がいによる生活上の困難を克服する保育に努める。	個人記録をとりながら職員間で話し合いをし、対象児一人ひとりに合わせた支援の仕方や環境を整えながら保育に努めた。	3	職員間での話し合いを元に一環した保育が行われていたと思う。	4	個別の指導計画の作成と話し合いをとおして共通理解を深めていく。さらに専門機関との連携も深めていく。
信頼関係の推進	幼稚園が家庭や地域社会との連携を深め、地域における幼児期の教育の支援のセンターとして、子育てを支援する。	園舎開放や井戸端会議等では参加しやすい雰囲気作りを心がけ、設定した場を利用しての親子の遊び場、保護者同士が自然にかかわりがもてるような内容の工夫に努めた。	2	子育てにおける不安や悩みについて、話し合える場があることは大切で、今後も継続してほしい。職員との温かい対応に共感ももてた。	4	楽しみに参加できる内容の工夫と雰囲気作りを心がけ、計画的に進めていく。
	園だより・クラスだより・個人の連絡帳などを通して、園の情報を積極的に伝え、保護者との信頼関係を築く。	園での様子等を発信していくことで、園に対する関心と安心感を高めることで信頼関係を深められるようになってきた。	2	園での様子がわかるということは、親の安心にもつながり、より一層の信頼関係をもつこともできると思う。	4	園での様子を様々な方法で情報発信していくとともに送迎時を利用して情報を伝えていきたい。